

ローマ法雑誌

第2号 [2021]

ISSN 2435-2411

【査読付き論文】

1. 古典期ローマ法における信託遺贈の効力について— D. 31,89,7 (Scaev. 4 resp.)
の釈義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・篠森大輔 (1)
2. 1世紀プテオリおよびネアポリス近郊の帳簿と法 (Tabulae Pompeianae
Sulpiciorum 60-65)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・宮坂渉 (49)

【彙報】

《史料紹介》

3. Ordo iudiciarius antequam 邦訳・・・・・・・・・・・・・・・・川島翔 (157)
4. ユースティニアヌス『法学提要』(1)・・・・・・・・・・田中創 (222)

《書評》

5. 宮坂渉「Tabulae Pompeianae Sulpiciorum 78に見る1世紀プテオリの取引と法の
実像」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・粟辻悠 (304)
6. 塚原義央「ユリアヌスの法解釈—アクィリウス法を素材に」・・・・・・・・林智良(312)
7. 菅尾暁「表見相続人の和解行為に関する追認問題—Scaev.D.2,15,3,2」
・・・・・・・・・・・・・・・・林信夫 (320)
8. 石川真人「占有は事実か法か—2007年10月24日のBürgeゼミ」
・・・・・・・・藤野奈津子 (328)

《学界動向》

9. ドイツ法史家大会若手フォーラム参加記・・・・・・・・川島翔 (337)
10. ARC2020参加記・・・・・・・・・・・・・・・・塚原義央 (354)
11. 日本ローマ法研究会第4回大会に寄せて・・・・・・・・吉原達也 (358)
12. 第4回大会(日本ローマ法研究会)プログラム・報告要旨集・・・・・・・・(371)

《編集後記》